

10 いわたの豊かな海がスター☆を育てる！

☆ 取組のポイント ☆

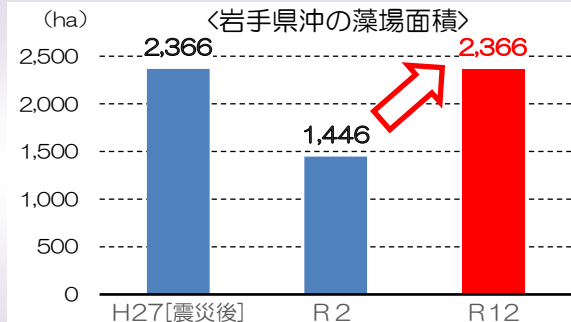
- ★ 近年の海洋環境変化により本県沿岸域の藻場（海藻が多く繁っている場所）が衰退し、餌の減少によりアワビ等の漁獲量が減少しています。
- ★ アワビ等の漁獲量を回復するため、コンブ等の藻場の再生を行っています。



☆ 取組の目標 ☆

- ★ ブロックの設置によるハード対策とウニ除去等のソフト対策を行うことで藻場の再生を図ります。
- ★ 藻場の面積を、令和12年までに平成27年と同程度（約2,300ha）まで回復させることを目標としています。

☆ 漁村再生交付金事業 大槌町

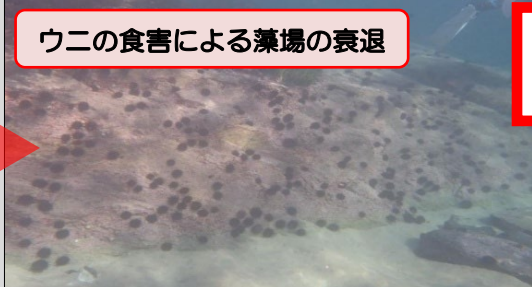


☆ 整備前 ☆

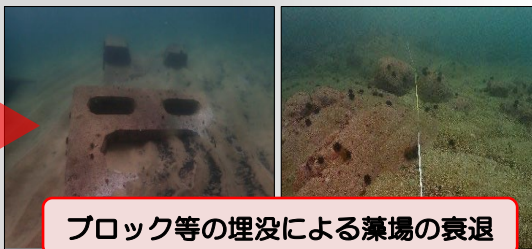
衰退前の藻場



ウニの食害による藻場の衰退

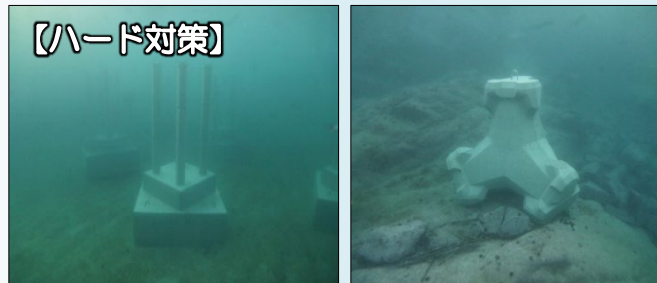


ブロック等の埋没による藻場の衰退



☆ 整備後 ☆

【ハード対策】



ウニが登りにくいブロックの設置

【ソフト対策】



コンブロープ設置によるタネの供給

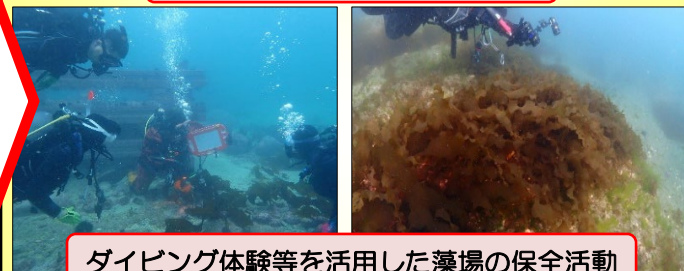
ダイバーによるウニ除去

- ★ ハードとソフトが一体となった対策により、藻場の拡大が期待されます。

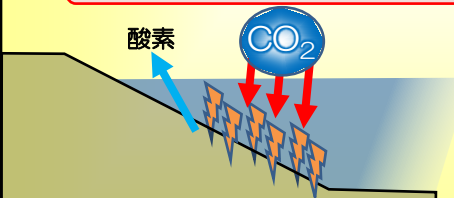
☆ 整備後のその先 ☆



藻場の回復によるアワビの増加



ダイビング体験等を活用した藻場の保全活動



CO₂を取り込むブルーカーボン生態系の形成が期待



漁港マスコミキャラクター ぎょっこん